

鷺坂さぎさかにして作る歌うた一首

一七〇七番

山背やましろの 久世くせの鷺坂さぎさか 神代かみよより 春はるは萌はりつつ  
秋あきは散ちりけり

泉川いづみがはの辺へにして作る歌うた一首

一七〇八番

春草はるくさを 馬うま咋くひ山やまゆ 越こえ来くなる 雁かりの使つかひは 宿やど  
り過すぐなり

弓削ゆげ皇子のみこに献たてまつる歌うた一首

一七〇九番

御食向みけむかふ 南淵山みなぶちやまの 巖いはほには 降ふりしはだれ  
か 消きえ残のこりたる